

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレイズヒル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>



受け取った3人の子どもたち(カンボジア孤児院)

みなさまの温かいご支援を、心から感謝いたします。

そのご支援によって、今日も世界中にいる孤児たちを、私たちは助けることができます。

先日、関西エンジニアリングさまより多額のご支援(400万をザンビアに、100万をカンボジアに)をザンビアとカンボジアに頂き、ザンビアにおいて学校建設をし、運営している場所の隣に1800平方メートル(544.5坪)の土地を購入することができました。これからさらに孤児たちの教育も含めて育み助けていくことができることをとても喜んでおります。またカンボジアにおいても、新しく子どもたちを受け入れることが続いています。先日は5歳、3歳、1歳の3人の男兄弟を政府からの依頼で礎の石孤児院で引き取ることになりました。

フィリピンでは、私たちは修学支援を行っていますが、その必要の全てが満たされ送金出来ません。皆様のご支援に心から感謝いたします。なお、すぐまた新年度が来て、新しい学年へと子どもたちは進みます。続けての継続してのご支援を心から願います。

また日本においても孤児院、日本では孤児院とは言わず児童養護施設、今は「ファミリーホーム」が必要となって来ています。そのための具体的な働きを進めたいと願っています。そのためにも、ご支援をよろしくお願いいたします。

世界は戦争や混乱の中を動いています。その中で、いつも弱い立場にいる子どもたちが傷み傷つきます。この子どもたちの1人でも多くを助け、彼らが健やかに成長していくのを手助けしたいと、私たちは、心から願っています。

そのためにも、さらに多くの方々「礎の石孤児院」のことを知っていただき、ますます多くの方々からのサポートが増し加わりますよう「礎の石孤児院」のことを、みなさまの周りの方々にもお伝えいただけるようお願いいたします。そして支援の輪が大きく広がりますよう、どうぞ、よろしくお願いいたします。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きのための皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。10月後半頃、孤児となった8歳の男の子の情報が入ってきました。スタッフが状況視察に行ったところ、一緒にいるのはお婆さんだけで、離れた親戚の方もいることはわかりましたが、現状としては誰も彼を継続して養育出来ない状況ということでした。孤児院での受け入れを政府機関の方々と話して、受け入れのための手続きに行きました。彼は最初、緊張している様子でしたが放課後、孤児院に戻ってきた子ども達を見て、同世代の男の子達とはすぐに打ち解け、ほっとしました。これから8歳の男の子との生活と自立の準備のために、皆様からのご支援を頂ければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。11月初旬、三日間の連休がありました。いつもは地方対抗ボートレースで賑わうのですが、今年は開催が中止されました。そこで川沿いの道で歩行者天国になるとの情報があり、スタッフと子ども達で出掛けていきました。そこにはすでに沢山の出店があり、各々自分たちの好きなものを買って食べたり楽しいひとときを過ごしました。皆様のご支援に心から感謝いたします。



孤児院の食事の時間!写真左がTHです、よろしくお願いいたします

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

フィリピンの子もたちへの皆様の温かいご支援を心から感謝致します。

11月は、20日と21日に今学期3回目のテストがあります。

また29日にはPTAのミーティングが行われます。11月の初め、今年度の32名分の就学支援の必要額の残り\$3,929.06(¥614,258)を送金して頂くことが出来ました。

皆様のご支援に子どもたちも私たちスタッフも大きな喜びを与えています。温かいご支援にどんなに感謝してもきれないほどです。

支えて下さっている皆様とご家族の健康が守られ、お仕事の上にも豊かな祝福がありますように願っております。

今後ともフィリピンの子もたちのために、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



国連月間の学校行事に各国の民族衣装を着て参加しました

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の日頃の温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

私たちは最近、長年の悲願であった、中高等学校近隣の土地の購入を果たす事ができました。以前にもご支援いただいた関西エンジニアリング様からのご寄付によるものです。心から感謝申し上げます。

「土地は力」と言われますが、今後の私たちの働きが発展するためには必要不可欠で、かつ最優先のニーズでした。また、私たちが運営している中高等学校は、最近急激に宅地化が進んでいるところにあります。そのため土地価格も急騰していたのですが、今回このタイミングで、良い土地を購入できた事は本当に感謝です。

そして私たちの故障続きだった車両が遂に走行中にコントロールを失い、柱にぶつかってしまいました。こちらはダメージ大きく(幸いケガはありませんでした)、早急に代わりになる四輪駆動車両の購入が必要になっています。300万~400万円の必要がありますので、こちらもどうぞ引き続きご支援を宜しくお願い致します。



購入した土地

松本弘子さんのイラスト



ザンビア・カセンガの村の雑貨屋さんで
買い物をする桜子スタッフと子供たち

礎の石孤児院
×
Congrant寄付

あなたの想いが
子どもたちの未来に届きます

ワンクリックで、今日から支援を始められます。子どもたちの笑顔を、あなたの寄付で守ってください。

